

令和7年度第2回 西九州させぼ広域都市圏ビジョン懇談会資料

4 議事

西九州させぼ広域都市圏第2期ビジョンの変更について

西九州させぼ広域都市圏第2期ビジョンの変更について

1 これまでの経過及び今後の予定

R7								R8
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
新規・拡充事業の検討		新規・拡充事業案の決定		予算編成・ビジョン改定案作成		ビジョン改定内容の決定		各事業実施
8/4 ビジョン 懇談会		10/20 幹事会 (松浦市)	11/10 協議会 (松浦市)			2/20 幹事会	3/17 ビジョン 懇談会	
▼							▼ 予算議決	
8/28 協議会							3/26 協議会	
							▼ ビジョン 確定・公表	

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

2 ビジョンの変更内容

関係市町との協議・調整の結果、西九州させば広域都市圏第2期ビジョンに係る令和8年度の新規・拡充事業は以下のとおりとする。
 (連携事業数：42事業 → 43事業)

新規	ア 圏域全体の経済成長のけん引	No.43 産学官連携による人材育成に関する検討
	ア 圏域全体の経済成長のけん引	No.5 ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の推進 (現行の事業名：広域連携による周遊観光の推進)
拡充	ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	No.15 地域医療の確保に関する取組

新規事業である「産学官連携による人材育成に関する検討」は、3つの役割のうち「ア 圏域全体の経済成長のけん引」に位置づけることとする。
 ※事業番号のズレが生じないように、No.43として追加する。

役割	No.	連携事業
ア 圏域全体の経済成長のけん引	1	西九州させば広域都市圏ビジョン懇談会等運営
	2	創業支援の連携
	3	農水産物等特産品販路拡大
	4	共同物産展の開催
	5	広域連携による周遊観光の推進
	6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
	7	圏域内企業の認知度向上



役割	No.	連携事業
ア 圏域全体の経済成長のけん引	1	西九州させば広域都市圏ビジョン懇談会等運営
	2	創業支援の連携
	3	農水産物等特産品販路拡大
	4	共同物産展の開催
	5	ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の推進
	6	自治体新電力を活用したGX事業の構築
	7	圏域内企業の認知度向上
	43	産学官連携による人材育成に関する検討

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

新規 No.43 産学官連携による人材育成に関する検討

令和8年度追加事業

1 事業概要

佐世保工業高等専門学校¹の立地や長崎国際大学²理工系学部の新設等を背景として、地域産業の振興、人材の地元定着、企業誘致促進などを目的に産学官連携の拠点機能に関する検討を行うもの

2 参考/現状分析

高等・専門教育機関や産学連携機能が充実している長崎市・県南地域との比較において、大学への進学率やIT企業や製造業の設計・開発拠点の立地件数に差が見られる。

①理工系の高等・専門教育機関(4年制大学)、産学官連携機能

【長崎市・県南地域】

- ・長崎大学 情報データ科学部
- ・長崎県立大学 情報システム学部

◆産学官連携拠点

長崎県立大学シーボルト校 情報セキュリティ産学共同研究センター

②大学進学率

【県南】 53% 【県北】 36%

【長崎市】 51% 【佐世保市】 39%

③2019～2024のIT企業や製造業の設計・開発拠点の立地件数

【長崎市】 26件 【佐世保市】 4件

【ビジョン案】

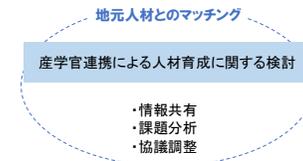
NO 43 産学官連携による人材育成に関する検討

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和6年度)	目標値(令和10年度)
—	—	—

(事業概要)

- ・佐世保工業高等専門学校の立地や長崎国際大学理工系学部の新設等を背景として、地域産業の振興、人材の地元定着、企業誘致促進などを目的に産学官連携の拠点機能に関する検討を行う。



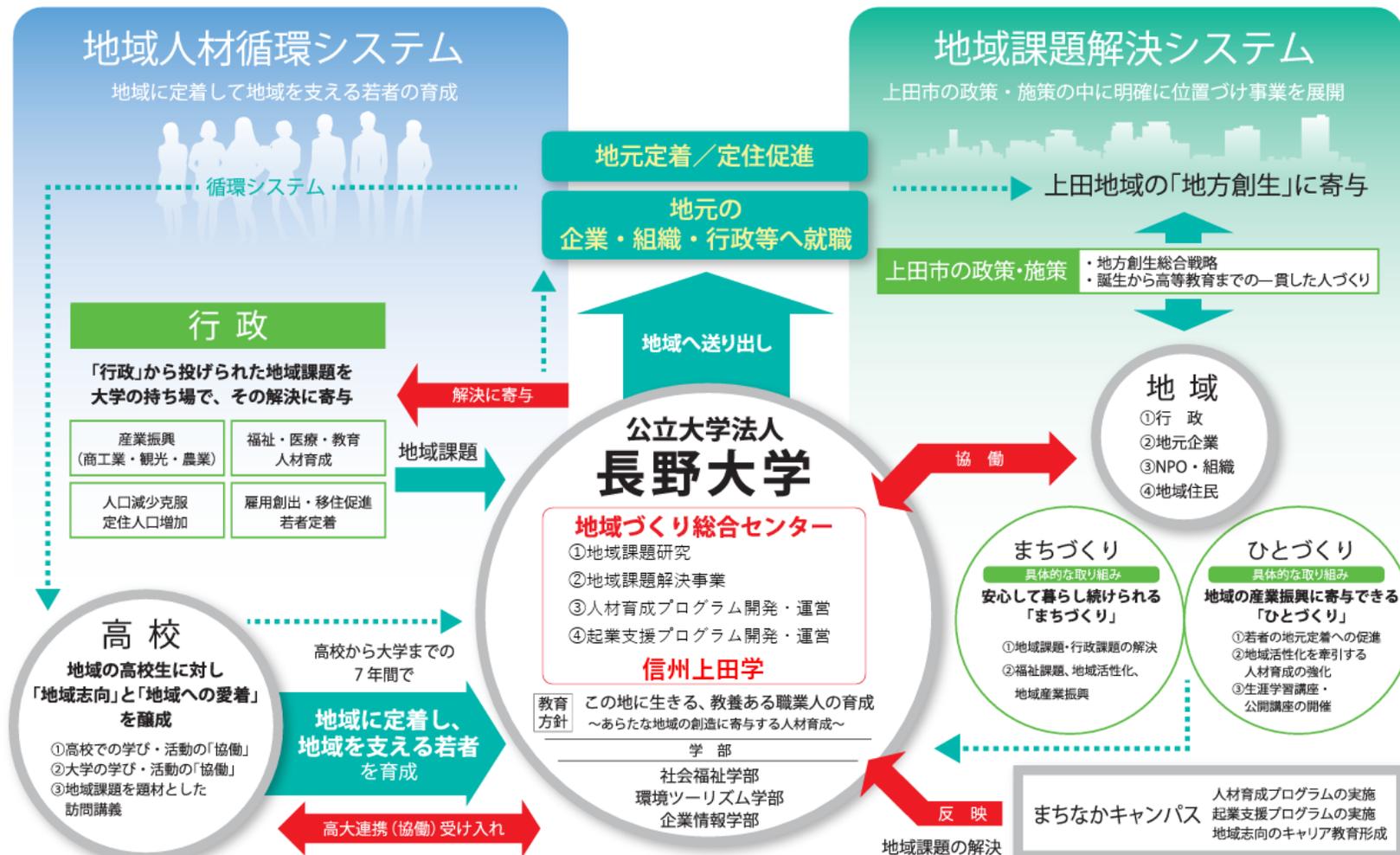
関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による 効果	圏域における人材確保のインセンティブになるような産学官連携の拠点機能に関する検討を行うことにより、将来的な機能構築及び圏域の競争力向上に繋げる。												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	産学官連携の拠点機能に関する提案・協議・調整を行う。											
	関係市町	産学官連携の拠点機能に関する協議・調整を行う。											

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

参考／長野大学（上田市設置）における産学官連携の取組

- 長野大学は令和8年4月より、情報技術を駆使して未来を創造できる人材育成をめざし、「共創情報学部」を設置する。
- 新学部の設置と並行し、既存の地域づくり総合センター内に「うえだ人材共創スクエア」を設置、「産学官+学生」の連携により上田地域らしい人材育成の場を提供するもの。
- 現時点で地域企業10社が参画している。

参考／長野大学の公立大学法人化後の大学像「地域を支える人材育成」モデルの概念図



西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

拡充 No.5 ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の推進（現行の事業名：広域連携による周遊観光の推進）

1 前回のビジョン懇談会後における経過

(1) 令和7年8月28日

令和7年度第1回西九州させば広域都市圏協議会（首長会）を開催

同日に、ハウステンボスと西九州させば広域都市圏において「広域周遊観光の促進に関する連携協定」を締結

両者が有する観光資源や強みを活かし、広域的な観光ネットワークの形成や長期滞在型観光の推進を図るとともに、地域全体の交流人口拡大と経済循環の強化を目指す。

連携・協力する
主な内容

- 1 広域周遊観光及び滞在期間延伸を促進するための戦略的・効果的な事業の実施
- 2 圏域の資源（食、歴史・文化、自然）を活用した観光コンテンツ開発
- 3 旅行者を圏域へ呼び込むためのブランディング及び共同プロモーションの推進
- 4 その他、目的達成のために必要な事項



(2) 令和7年11月10日

令和7年度第2回西九州させば広域都市圏協議会（首長会）を開催

令和8年度以降の事業内容について意見交換を実施

～ 具体的な事業化に向けて協議検討を継続中 ～

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

【現行ビジョンの書き込み】

NO
5

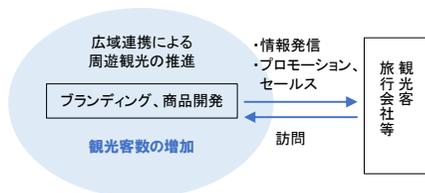
広域連携による周遊観光の推進

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和3年度)	目標値(令和10年度)
圏域における観光客数	8,186,661人/年	14,838,000人/年

(事業概要)

- 圏域内に点在する観光施設や体験メニュー、イベントなど観光素材の棚卸を行い市場の特性に応じた磨き上げに取り組みながら旅行商品化を図る。
- 本圏域で最大の集客力を誇るハウステンボスの来訪客の取り込みを含め、広く圏域内の周遊促進につなげる。
- 圏域内の観光素材を活用した観光客へのプロモーションを行い、佐世保市を起点とした域内周遊観光の促進による地域経済活性化を図る。



関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による効果	造成した旅行商品を機に来訪した観光客の周遊による圏域の経済活性化												
事業費見込額(千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	合計							
	16,754	16,754	16,754	16,754	16,754	83,770							
国及び県補助制度等	-												
役割分担	佐世保市	圏域内のコンテンツ造成・販路開拓・プロモーション等にかかる企画立案と各関係市町との調整を行う。											
	関係市町	観光素材の棚卸・磨き上げによるコンテンツ造成(事業者、団体等との調整)を行う。											

【ビジョン改定案】

NO
5

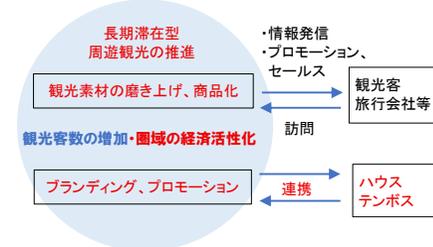
ハウステンボスとの連携等による長期滞在型周遊観光の推進

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和3年度)	目標値(令和10年度)
圏域における観光客数	8,186,661人/年	14,838,000人/年

(事業概要)

- 圏域内に点在する観光素材の磨き上げに取り組みながらインバウンド向けの旅行商品化を図るとともに、プロモーションを実施する。
- 各市町がそれぞれに有する「食」、「歴史・文化」、「自然」を最大限活用しながら長期滞在エリアとしての魅力を高めるため、ハウステンボスとの連携により、観光コンテンツの開発や旅行者を圏域へ呼び込むためのブランディング及びプロモーション等を行う。



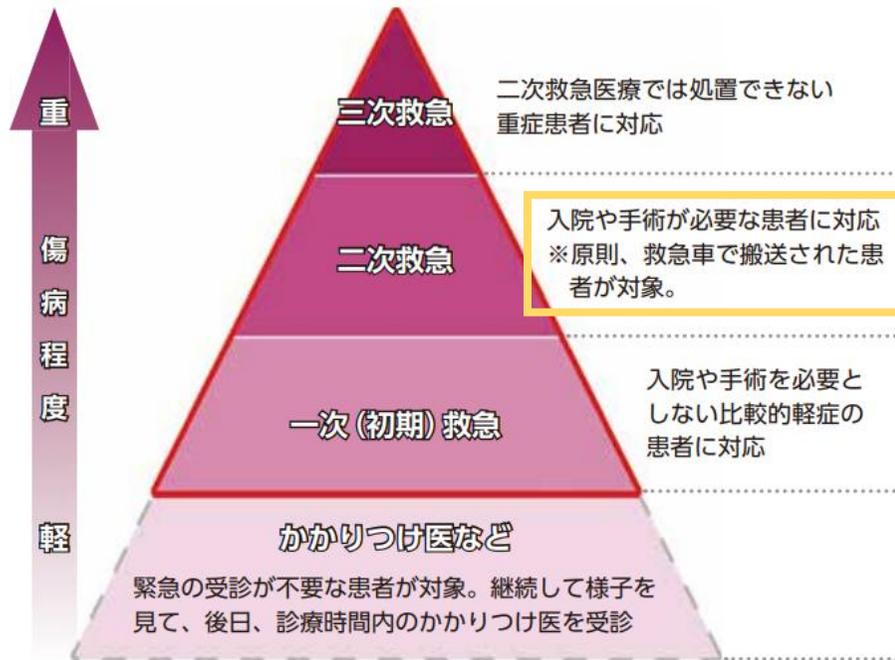
関係市町構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携による効果	長期滞在型周遊観光の推進による圏域の経済活性化												
事業費見込額(千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	合計							
	16,754	16,754	16,754	16,754	16,754	83,770							
国及び県補助制度等	-												
役割分担	佐世保市	圏域内のコンテンツ造成やハウステンボスとの連携事業に係る企画立案及び連携事業、関係市町との調整を行う。											
	関係市町	観光素材の棚卸・磨き上げによるコンテンツ造成(事業者、団体等との調整)、ハウステンボスとの連携事業を行う。											

事業化に向けて協議を継続中
※来年度の改定時に修正予定

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

拡充 No.15 地域医療の確保に関する取組

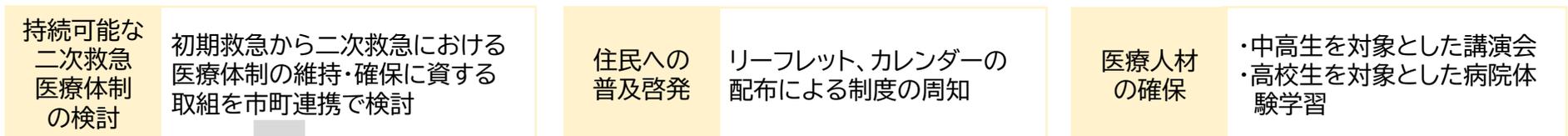
1 二次救急医療体制とは



- ✓ 二次救急医療体制とは、入院や手術が必要な重症患者を受け入れる医療体制のこと
- ✓ 佐世保市総合医療センター、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎労災病院など10病院による輪番制で診療を実施(平日夜間及び休日)
- ✓ 必要な診療機能を維持・確保し、圏域住民の安全・安心な医療環境を確保するため、関係市町と協力し、運営を支援している

2 連携事業への位置づけについて

現在、「No.15 地域医療の確保に関する取組」においては、主に以下の取組を実施。



「二次救急医療体制」の市町負担のあり方見直しを契機に、二次救急医療体制の運営支援についても、加えて位置付けるよう整理したもの。

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

【現行ビジョンの書き込み】

NO
15

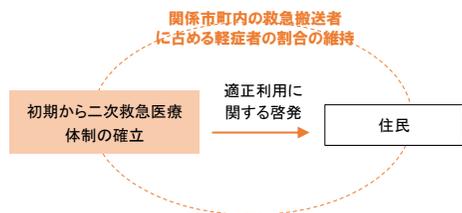
地域医療の確保に関する取組

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年)	目標値(令和10年)
関係市町内の救急搬送者に占める軽症者の割合	31.9%/年	31.9%/年

（事業概要）

- 関係市町が連携し、初期から二次救急医療体制に関して検討し、住民への普及啓発も併せ、圏域として地域医療を守るための取組を行う。



【ビジョン改定案】

NO
15

地域医療の確保に関する取組

KPI（重要業績評価指標）

	現状値(令和4年)	目標値(令和10年)
関係市町内の救急搬送者に占める軽症者の割合	31.9%/年	31.9%/年

（事業概要）

- 関係市町が連携し、初期から二次救急医療体制に関して検討し、住民への普及啓発も併せ、圏域として地域医療を守るための取組を行う。
- 二次救急医療体制の維持・確保のための支援を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●				9
連携による 効果	圏域内の地域医療提供体制の確保・充実												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	6,291	13,246	13,246	13,246	13,246	59,275							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	中心市として各種事業の調整・推進を行う。											
	関係市町	中心市と連携し、各種事業の協力・推進を行う。											

関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	①	①	①	①	●				9
連携による 効果	圏域内の地域医療提供体制の確保・充実												
事業費 見込額 (千円)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	合計							
	6,291	13,246	115,333	115,333	115,333	365,536							
国及び県補 助制度等	—												
役割分担	佐世保市	<ul style="list-style-type: none"> 中心市として各種事業の調整・推進を行う。 現行二次救急医療の維持・確保及び将来的に持続可能な体制の検討を行う。 											
	関係市町	<ul style="list-style-type: none"> 中心市と連携し、各種事業の協力・推進を行う。 救急医療における現状・課題の把握・分析及び二次救急医療体制の維持・確保に係る費用負担を行う。 											

西九州させば広域都市圏第2期ビジョンの変更について

構成市町の変更に伴う修正(事業費負担の影響なし、連携協約変更なし)

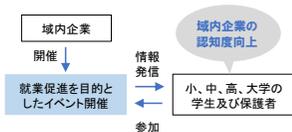
NO 7 圏域内企業の認知度向上

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
参加者に対するアンケート調査結果(認知度件数割合)	—	80%/年

(事業概要)

- 市内企業等が実施する、就業促進等を目的としたイベントに対する補助の対象地域を圏域に拡大。
- 参加市町数に応じた補助の上乗せにより、圏域内企業の認知を高めることで、地元定着を図る。
- イベントの対象者は小・中学生、高校生、大学生等及び子供の進路に影響力がある保護者を想定。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●		●	—	●	●	●		●				6

▲1 西海市

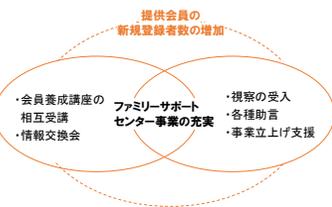
NO 21 ファミリー・サポート・センターの充実

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
提供会員の新規登録者数	9人/年	15人/年

(事業概要)

- 佐世保市を含む4市5町において、圏域におけるファミリーサポートセンター事業の充実を図る。
- 3市2町(佐世保市・平戸市・西海市・東彼杵町・波佐見町)においては、会員養成講座等を相互に受講可能とする。また、情報交換会を開催するなど、ファミリーサポートセンター実施団体同士の交流を図る。
- 1市3町(松浦市・川棚町・小値賀町・佐々町)においては、視察の受け入れや助言等、事業立ち上げの支援を行う。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●				9

+2 東彼杵町
小値賀町

NO 26 中心市文化芸術プログラムの広域連携

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
各文化芸術プログラムに参加した市町数	11/年	15/年

(事業概要)

- 佐世保市主要文化施設の指定管理者である「(公財)佐世保地域文化事業財団(以下「財団」という。))が実施する文化芸術事業に触れる機会を関係市町の小中学生等へ提供する。
- 関係市町においては、毎年度、財団が事業計画の中から連携プログラムとして提示したもののうち、予算の範囲内で希望する事業に参加する。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●		●	●	●	●	●	—	●		●	●	9

▲1 小値賀町

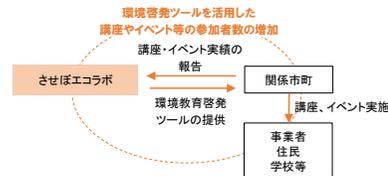
NO 32 圏域内のエコライフ推進 (「させばエコラボ」環境啓発ツールの広域展開)

KPI (重要業績評価指標)

	現状値(令和4年度)	目標値(令和10年度)
環境啓発ツールを活用した講座やイベント等の参加者数	—	620人/年

(事業概要)

- 佐世保市地球温暖化防止活動推進センター「させばエコラボ」が講座等で使用している環境教育啓発ツールを提供することで、圏域内のカーボンニュートラルを始めとした環境教育の充実を図る。



関係市町 構成数	佐世保市	平戸市	松浦市	西海市	東彼杵町	川棚町	波佐見町	小値賀町	佐々町	新上五島町	伊万里市	有田町	合計
	●	●	●	●	●	●	●	●	●				9

+1 小値賀町